

# 卒業論文研究計画の作成について

作成者氏名：篠原 隆介

2014年10月4日

ゼミ3年生には、卒業論文作成のために、研究計画を作成し提出してもらいます。研究計画書の作成で、最低限行わなければならないのは、

1. テーマを何にするのか
2. そのテーマに関して、具体的に何を調べ考察・分析するのか、
3. 考察・分析をどのような手順で行っていくのか、

の3点です。

次頁以降に、研究計画の作成例を添付しました。例が示すように、計画書には、

- テーマの概要
- テーマを選んだ動機（「これまでの経済学学習をベースとして、なぜ、選択したテーマが、考察・分析される価値があるのか」についてまとめる）
- 研究手順（調査方法、実施計画）

を必ず書いて下さい。

研究計画書提出締め切りは、各年度1月末日とします。

## 研究計画書

テーマ：ウィキペディアは、なぜ発展したのか？

氏名：〇〇 □□

### 1. 概要

ウィキペディアは、ネットユーザーに「百科事典」として広く利用されている。ネットユーザーに利用されるのは、ウィキペディアの編集に多くの人々が携わり、多種多様な情報の提供が行われているからであろう。卒業論文では、なぜ、多くの人々がウィキペディアの編集に参加するのかについて考察する。

### 2. このテーマを選んだ動機

ウィキペディアは、編集者に限らずネットにアクセスできる者なら誰しもが利用できるサービスであり、さらには、多数の者が同時にウィキペディアを利用したとしても、一人一人がウィキペディアから受けるサービスの量と質は、変化しない。経済学では、このような性格の財・サービスは、「公共財」と呼ばれている。一般に、公共財は、「消費の排除不可能性」と「消費の非競合性」を兼ね備えた財であると定義される。ある財・サービスを利用する場合、その利用に対する対価を支払った者だけではなく、対価を支払わなかった者までもが利用できる場合、その財・サービスは、消費の排除不可能性を満たすと言う。ある財・サービスの利用者が増えたとしても、その財・サービスの一人一人の利用量や財・サービスの質が変化しない場合、その財・サービスは消費が競合的ではない(非競合的)であると言う。

公共財の供給では、「ただ乗り問題(フリーライダー問題)」が発生することがよく知られている。公共財は、消費の排除不可能性と非競合性から、その供給に対価を支払わなかった者でも、対価を支払ったものと同等の量と質で利用できる。そのため、公共財から便益を享受できる者は、すべて、他者が公共財に対して支払いを行い、自分はただで公共財を利用しようとする動機を持つ。この動機のために、公共財は、社会的に望ましい水準よりも過小にしか供給されることがない。この問題が、ただ乗り問題である。ただ乗り問題は、公共財を利用する個人が多くなればなるほど、深刻になると言われている(オルソンの推測)。公共財を利用する個人が多くなることは、公共財の供給に資金を投じる可能性のある個人が多くなることに等しい。そのため、個々人の他者の支払いにただ乗りしようとする気持ちが強くなるためである。

ただ乗り問題が示すように、公共財は十分な量が供給されない。では、ウィキペディアも、その質と量を見た場合、十分に提供されていないのだろうか。ウィキペディアの質を計ることは難しいが、少なくとも多くのユーザーに利用されているところを見ると、百科事典とは差があるものの、ある一定の水準を持っていると言っても良いであろう。また、量の面では、ウィキペディアに掲載されている記事数が725,711本、総ページ数が1917966ページ<sup>\*1</sup>と多岐に渡る事実を見れば、十分な情報量が提供されていると言っても良いであろう。もし、ウィキペディアの作成において、ただ乗り問題が発生するとすれば、このような情報量は提供されないであろう。また、482,587人(うち過去30日以内に編集作業を行った者は11,023人)<sup>\*2</sup>もの人々がウィキペ

<sup>\*1</sup> 本稿におけるデータは、「Wikipedia：日本語版の統計」(<http://ja.wikipedia.org/wiki/Wikipedia>)から引用した。記事数と総ページ数は2011年1月4日現在のものである。

<sup>\*2</sup> 2011年1月4日現在

ディアの編集に参加している事実を見れば、ただ乗り問題が起きているとは言いがたい。もちろん、ウィキペディアの編集に報酬が支払われることはないので、編集者はボランティア活動をしているに等しい。

ウィキペディアの編集は、ただ乗りの動機を持っても良い状況である。ウィキペディアを利用する個人の多さを考えると、他の編集作業にただ乗りするインセンティブが非常に強い状況であると言っても良い。<sup>\*3</sup>にもかかわらず、なぜ、ただ乗り問題が起きないのか(もしくは、深刻にならないのか)。この点は、大きな疑問である。

### 3. 卒業論文の作成計画

#### 3.1 調査方法

この疑問を解決する上で、次の3つのステップを経る予定である。

ステップ1: これまでのミクロ経済学と公共経済学の学習内容から、疑問を解明するのに必要な知識を学習する。特に、公共財供給理論は、本卒業論文に大きく関連するものなので、多くの時間を公共財供給理論の研究成果を調査することに多くの時間を費やす予定である。

ステップ2: ウィキペディアの関連資料・書籍を調査する。文献調査を通して、ウィキペディア固有の性質を探るとともに、編集者へのインタビュー記事など、研究上重要と思われる情報を、図書館等で調査する。

ステップ3: ステップ1と2の調査結果をまとめるとともに、疑問への解答を考察する。

#### 3.2 実施計画

ステップ1は、遅くとも201 $x$ 年7月までに完了させる。まずは、これまで講義で学習した内容で必要なものをピックアップする。必要な知識を得られそうな講義があれば、それに参加する。まず、これまで履修した講義やゼミで使った教科書を復習するところから始め、その後、ミクロ経済学や公共経済学の参考書を用いて、講義で得た知識を補完する作業を行う。知識の補完は、次の参考書を用いて、行う。

- (1) 板谷淳一・佐野博之(2013)『コア・テキスト 公共経済学』新世社。
- (2) 林正義・小川光・別所俊一郎(2010)『公共経済学』有斐閣。

公共財供給に関連する他の文献(英語文献を含む)については、ゼミ教員に聞くか、図書館の文献検索システム(EconLitなど)を用いて調べる。

ステップ2は、夏休み中に行う。現時点で次の文献を読むことを予定している。

- (3) 山本まさき・古田雄介(2008)『ウィキペディアで何が起きているのか：変わり始めるソーシャルメディア信仰』オーム社。
- (4) A. リー(2009)『ウィキペディア・レボリューションー世界最大の百科事典はいかにして生まれたか』千葉敏生訳、早川書房。
- (5) C. アンダーソン(2009)『フリー：〈無料〉からお金を生みだす新戦略』小林弘人・高橋則明訳、日本放送出版協会。

---

<sup>\*3</sup> 2009年7月におけるメインページの閲覧総数は、1,033,387回であり、利用者の多さを伺うことができる。

文献 (3) と (4) は、卒業論文に大きく関連する文献だと思うので、この 2 つの文献を集中的に読み、その後、文献 (5) のウィキペディアに関連する箇所を読む。新たな疑問が発生した場合には、他の文献も当たってみる予定である。ウィキペディアの開発者のインタビューなどの生の声を得るためには、ネット記事を調査することも重要だと思う。

ステップ 3 で、ステップ 1 と 2 の調査結果をまとめる。201x 年 10 月から論文の執筆を開始する。

【作成例終わり】

### 研究計画書作成に関するアドバイス

- 研究計画書は、卒業論文作成への道標です。研究計画を作成しない場合、卒業論文を作成することは著しく難しくなることを理解して下さい。
- テーマ選びで苦勞することが予想されますが、とりあえず、興味のある本を図書館で読んでみることをお勧めします。経済学を応用し、現実現象を読み解いた本が多く出版されていますので、これらは参考にあるでしょう。レベルもさまざまなので、一度、手にとってみると良いと思います。具体的な書名を知りたい場合は、私に相談して下さい。
- 研究計画を作成する段階から卒業論文を作成する段階、一貫して、重要なのは、自分の選んだテーマに責任を持つことです。次の文献を読んで、「論文を書くとは、どのようなことか」、「何をしなければならぬのか」について、必ず学習してください。
  1. 天野明弘・太田勲・野津隆志 (2008) 『スタディ・スキル入門-大学でしっかりと学ぶために』有斐閣ブックス。
  2. 酒井聡樹 (2006) 『これから論文を書く若者のために 大改訂増補版』共立出版。
  3. 戸田山和久 (2012) 『新版 論文の教室-レポートから卒論まで』NHK
- 「動機」の作成について：上の文章のように経済学的なものでも構いません。日常生活で不思議に思うことからテーマを選び、その不思議さを動機としても良いと思います。ただし、動機は説得力のあるものでなければなりません。つまり、「何かの基準」に基づいて、なぜ不思議なのかを説明できることが重要です。「だって不思議じゃないですか〜」など他人に説明できない、漠然と「不思議」に思うことは、不思議でも何でもないので、注意して下さい。テーマを何にするかに依存せず、経済学、経営学など、学問を基準として、動機を作成することは必要になると思います。
- 何か質問があれば、遠慮なくどうぞ。オフィスアワーには、アポ無しで研究室訪問できますし、それ以外の時間では、面会予約を取れば確実に会うことができます。

以上

(作成日: 2014 年 10 月 4 日)